

TeMP a Hob







権力に
驕った人間は

過去に
何も学ばない

TEMP a Hob
RE:verse



変わってるね

この国ではそれは
人にものを頼む
態度なの？

あなたに
頼みたいことが
あります



その上で

違いますか？

これでも礼儀をもっている
つもりですよ？
あなたがしたことを
考えれば…



異教の方

“お願い”を
しているんです

ええ

……はあ
断れる雰囲気じゃ
ないようだね……
物騒な国だ



僕にしか
できないこと？
はい

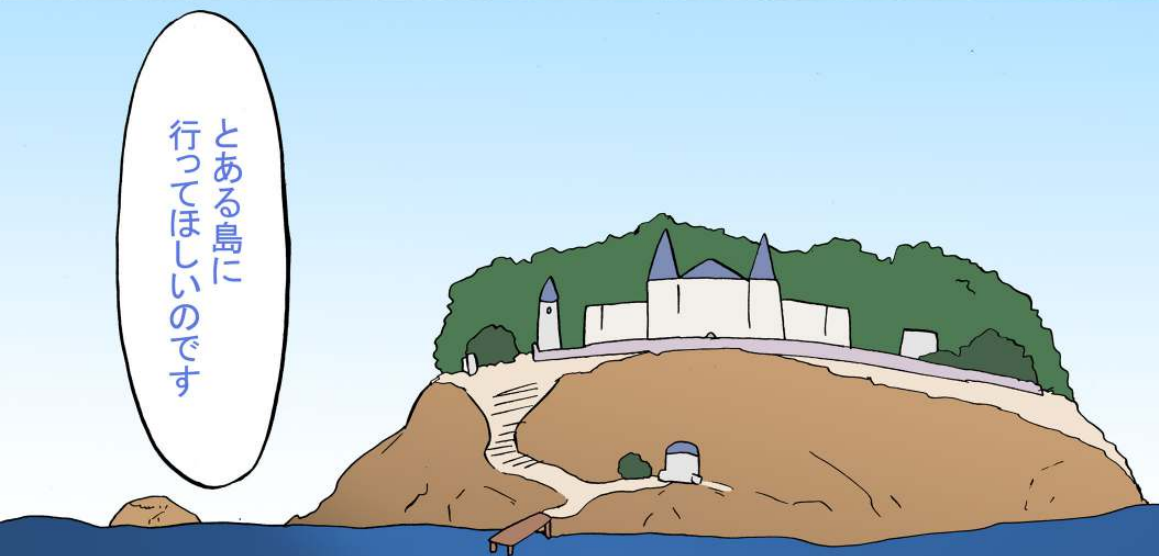
で
なんだい？



ですがあなたの
していることに
比べたら
かわいいこと
でしょう？
ハハハ
言うねえ



とある島に
行ってほしいのです



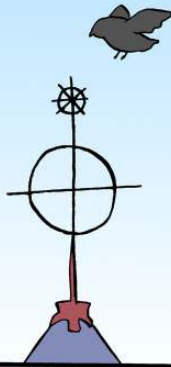
その島は元々
我々フレイヤの民が
心を上げるために
使っていた
場所なのですが



近年そこで悪行が
行われていると
聞きました

人攫い…人殺し
闇取引に毒作り

そのようなことを
するために
使われている
のであれば
神を愚弄するのと
同じこと



あなたになら
わかるでしょう？

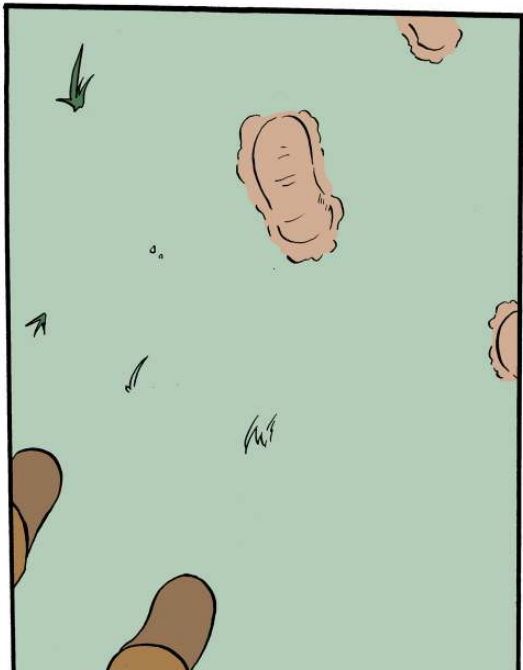
あなたならば
勘付かれない

ここから南に
暫くのところ
舟守を
待たせました

そこからは彼が案内してくれます
是非とも…お願いします



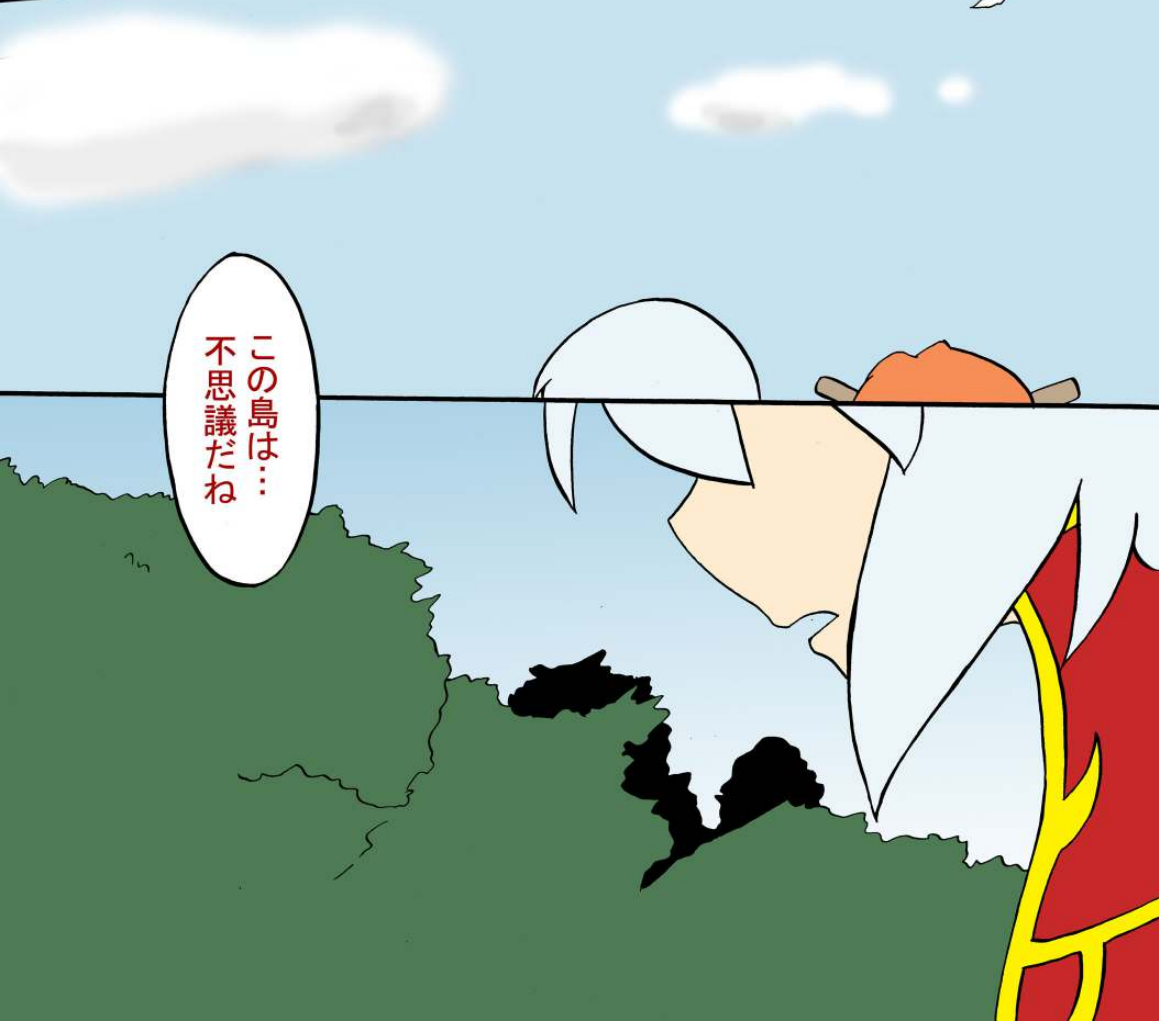






言ってた
悪い人
ですかね？

だろうね
気をつけて
いこう



この島は…
不思議だね



何がです？



見た様子だと
修練の場のようだけど…
なんだろうね

人の生きてきた
気配が
ないというか



普通みたいに
見えますけど

うん…表向きはね
…でもなんだろう
人の生に必要なものが…

あつては
不都合な

理由が…
あった…？

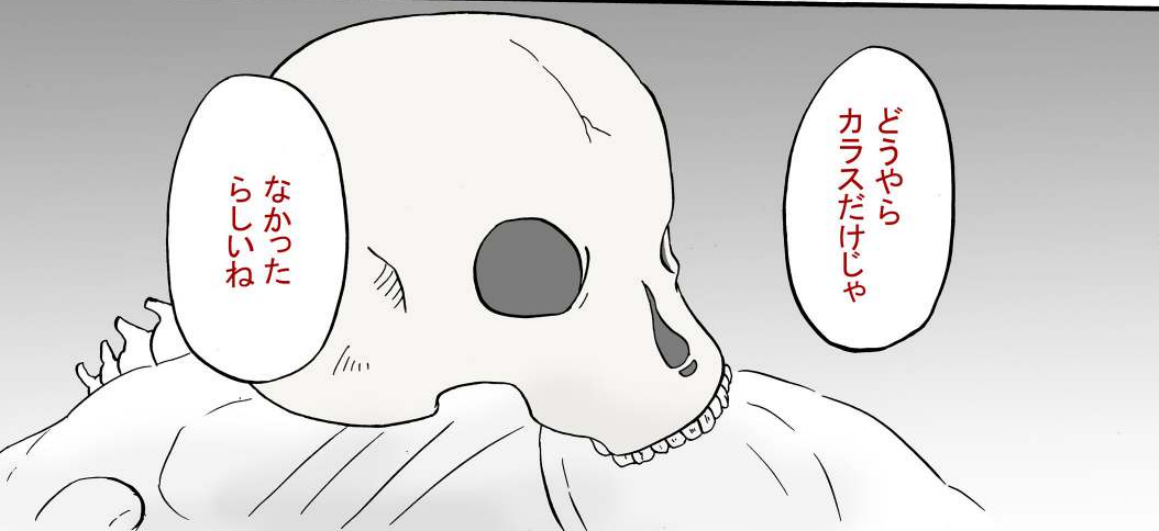
そうだ……火？



ユキさん!!!

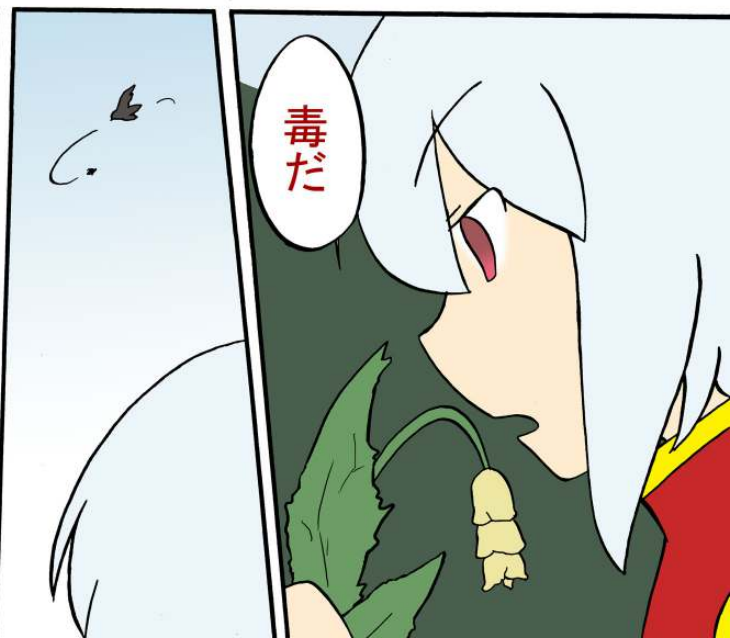






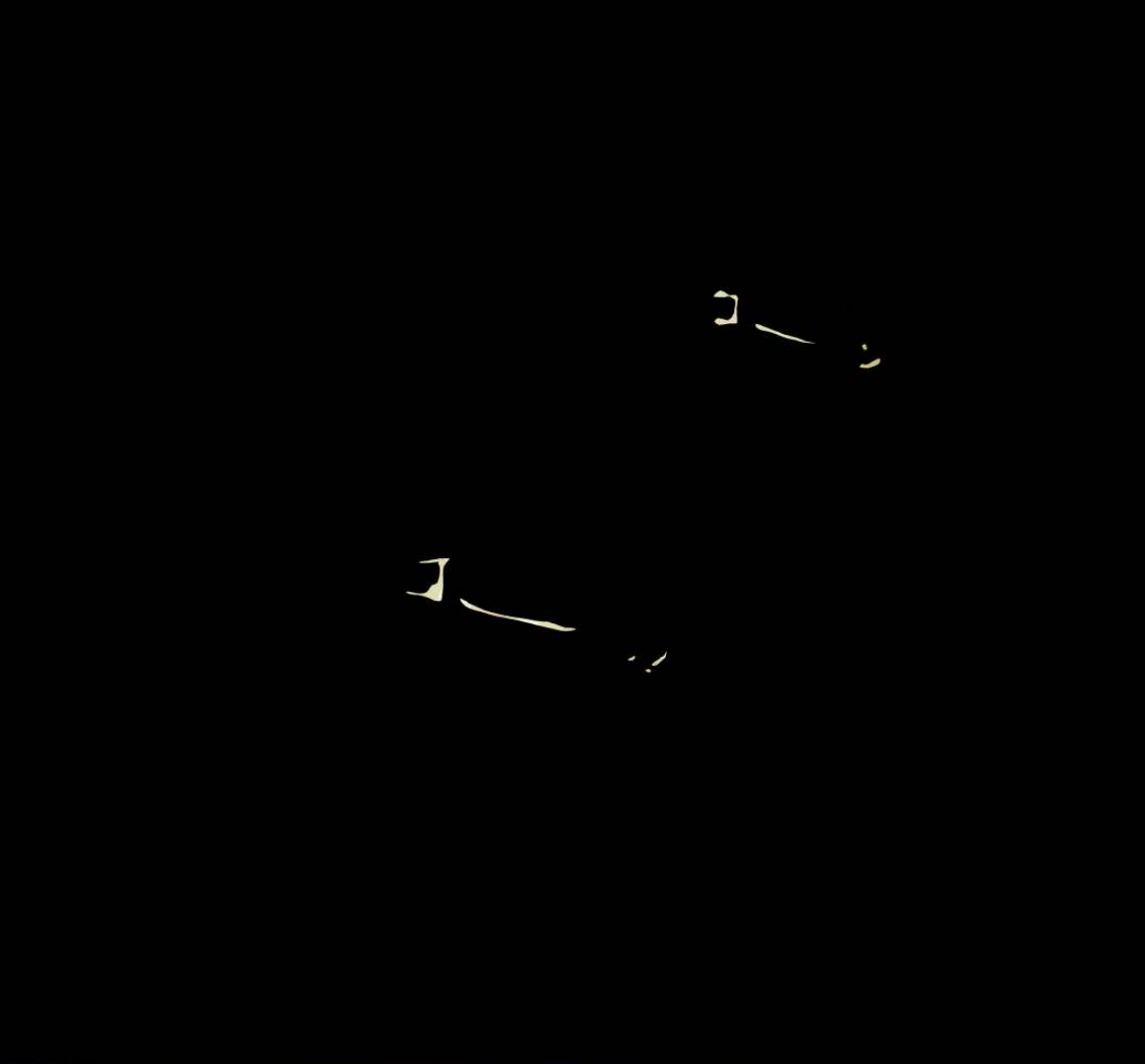
なかった
らしいね

どうやら
カラスだけじゃ

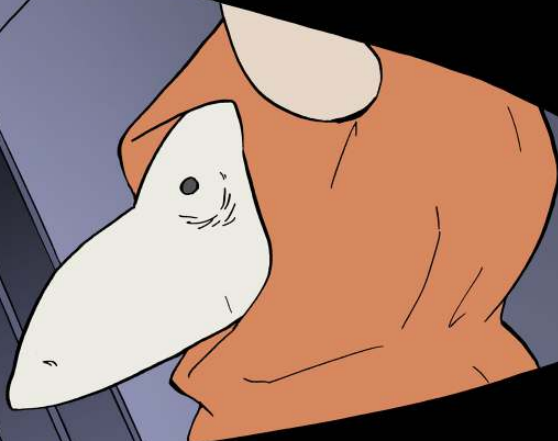








お目覚めに
なれましたか



ここは…

きみは？

ここは名も無き島
地下大聖堂

私たちは
クレスアクロウと
呼んでいます

大聖堂ね…

僕には牢屋に
見えるけど

ええ
聖堂の一部として
造られました

秩序を守るためには
牢だつて
必要になります

今に限れば





時刻はもう 夜です

先程の通り 地上よりもこの方が 安全です

それと







…すごいね

それを使えば
ここも楽でしょ

カラッ

充填に
時間がかかるので
もう無いものと
思ってください

それに…



ふうん…
と…ろ…で…ま



これがあるうとも…
私の力だけでは
彼を救えません



ついてきてください



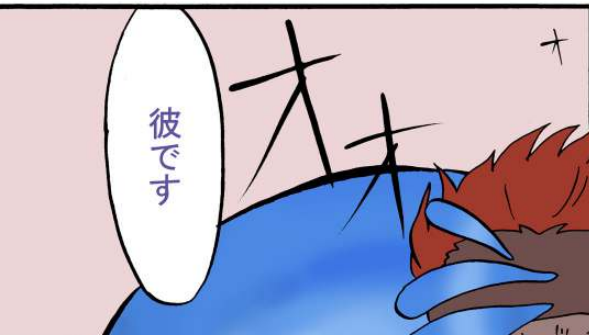
ここで
待ってちゃ
だめなの？

それがどうやら
何らかの理由で
彼はここには
近づけない
ようなのです

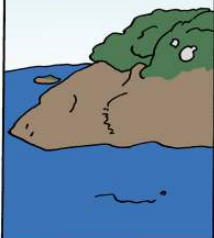


きっと異変の
原因のせい
あの方は
外におります…
この時間だけ
…では





私がこの道に進んだのは
自分の意思ではなかった



崇拜者の母の元
当然のように入信させられ

長い努めの末に
ここまで上り詰めた



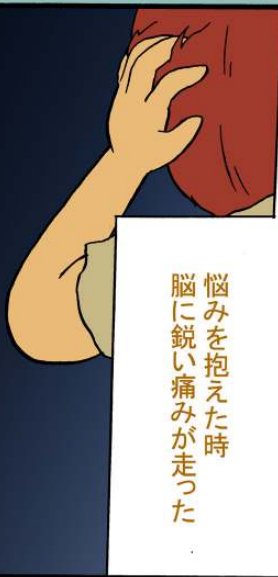
ここに来ることに
なった時はただの
島流しだと考えていた

しかし良き島民たちのもとで
自分の力を伸ばすことができ
私はここに来るために今まで
やってきたのだと思った



しかしここにいる限り
私は今の位のままで
あるという
焦りも多少はあった
神を追う道の者として
留まり続けることは
望んではいけないこと

悩みを抱えた時
脳に鋭い痛みが走った

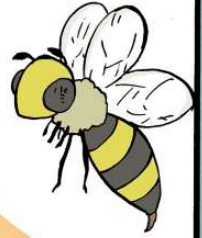


兄弟子たちが
神託を受ける際
酷い頭痛がしたという

とうとう私にも
その時がきたと安堵して
痛みを受け入れると

気付けば知らぬ者の
言葉が聞こえるように
なっていた

コンテハ
ヒバム



彼は島のために
なることをいくつも
教えてくれた

虫たちの扱い方
効率の良い
肥料の作り方

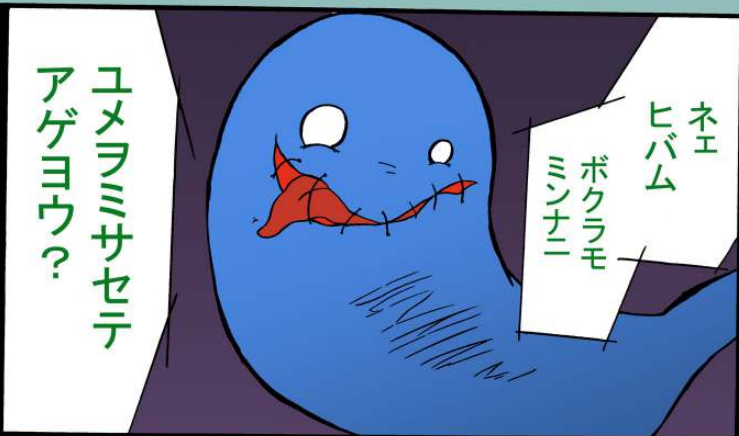
何かを育てることを
得意とせず
島の皆に支えてもらって
ばかりの自分には
とても助かる教えで

彼と私がいれば
この島はもつと
よくなると
信じていた

薬になる
植物の知識

ある日

ネエヒバム
ソコハエテル
ハナガナニカ
シッテル？





私は何を…

お前の
せいで…!

お前が
そそのかさ
なければ!

アーアー
ヤツチャツタネー

ナニツテルノ?
ダレノセイ?
キミノセイデシヨ
ミンナハ
キミラシンジテタ
ダカラコウナツタ

ボクハソノモノヲ
ワケアタエロナンテ
イツテナイヨ

ああ…

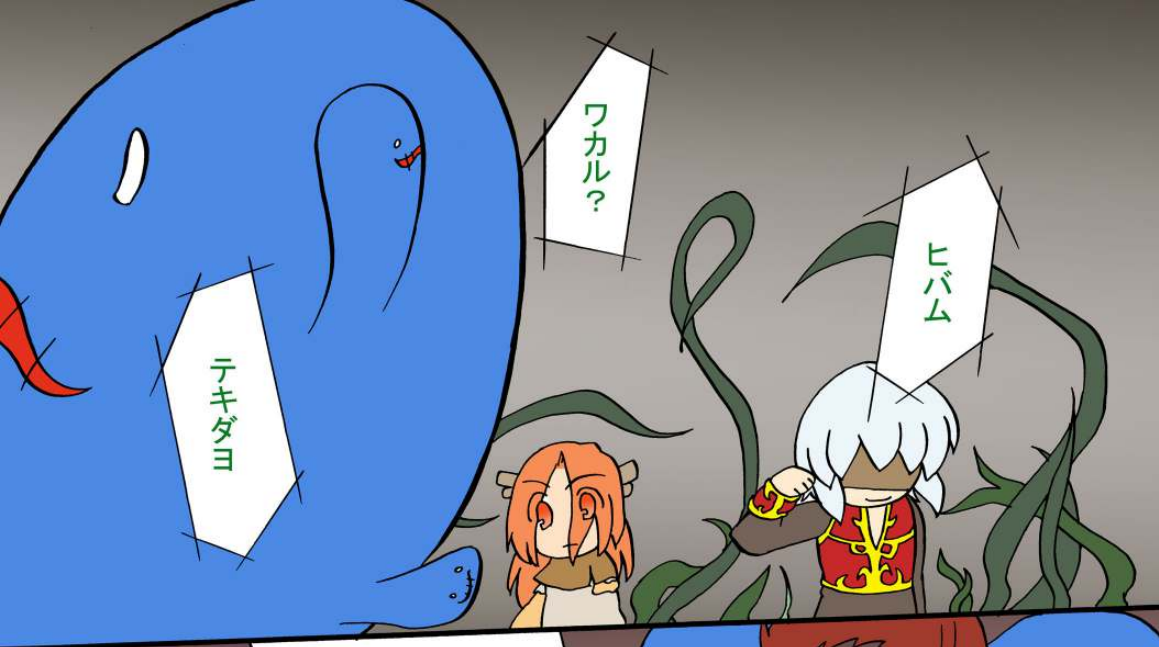
私は…
なんと
いう
ことを…

ヒバム
シンジャツ
タノ?

アーア
イイオモチャ
ダツタノニ

カンタンニシンジャ
ツマンナイヨ
モットクルシモウ?

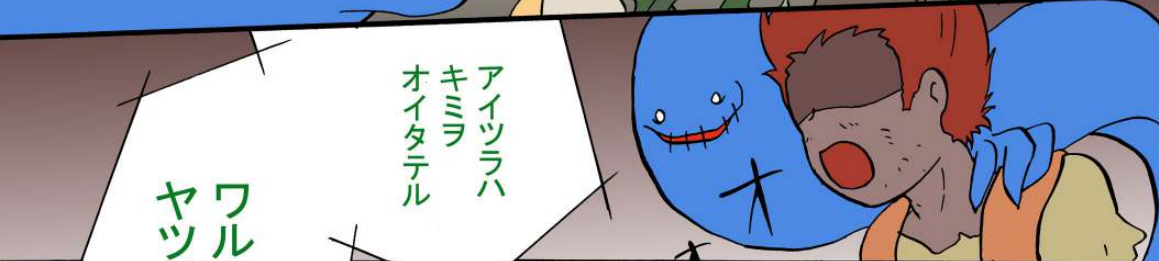




ワカル?

テキダヨ

ヒバム



アイツラハ
キミヲ
オイタテル

ワルイー
ヤツダ



タオサナイトネ

重力……

違う…
これは

音!?

あの方は歌の許されぬ
この地において
声で地位をあげた
数少ない人

たとえ死しても

その喉だけは
健在のようですね



壁を
作ればいい

なるほど...
声であれば
音を邪魔する



ヒバム
コバマレテ
カナシイ?

ダイジョウブサ



キノダイチハ
キミノミカタダヨ

キノ



音には



なんのっ

壊された!!?



音です



マサカ
アキラメタリ
シナイヨネ

ダツテヨコハ

ヒバム



キミノナカマガ
タクサン
イルンダカラ

ホッ
コ

ゴ

ホッ
ゴ

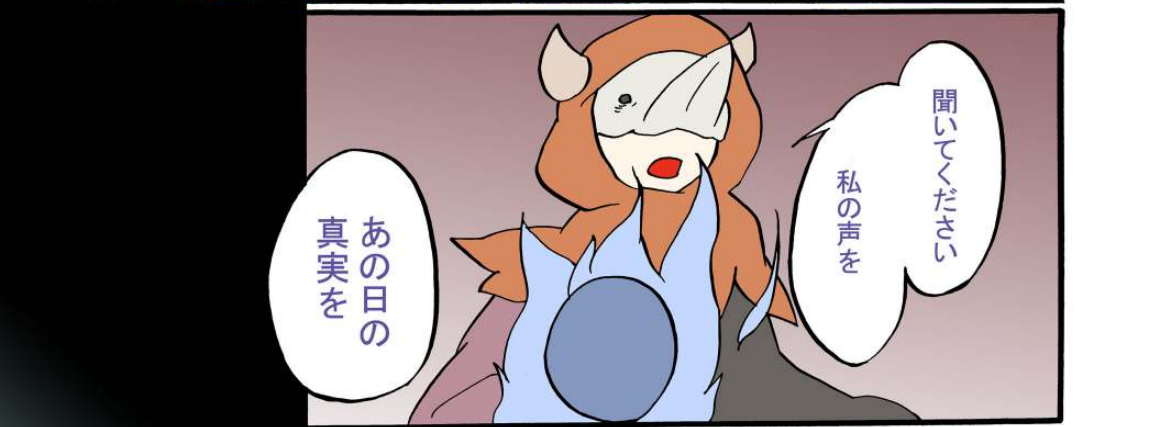
ゴッ



死人を
呼び出して
ますよ!?

さすがに
この量は...

ヒバム

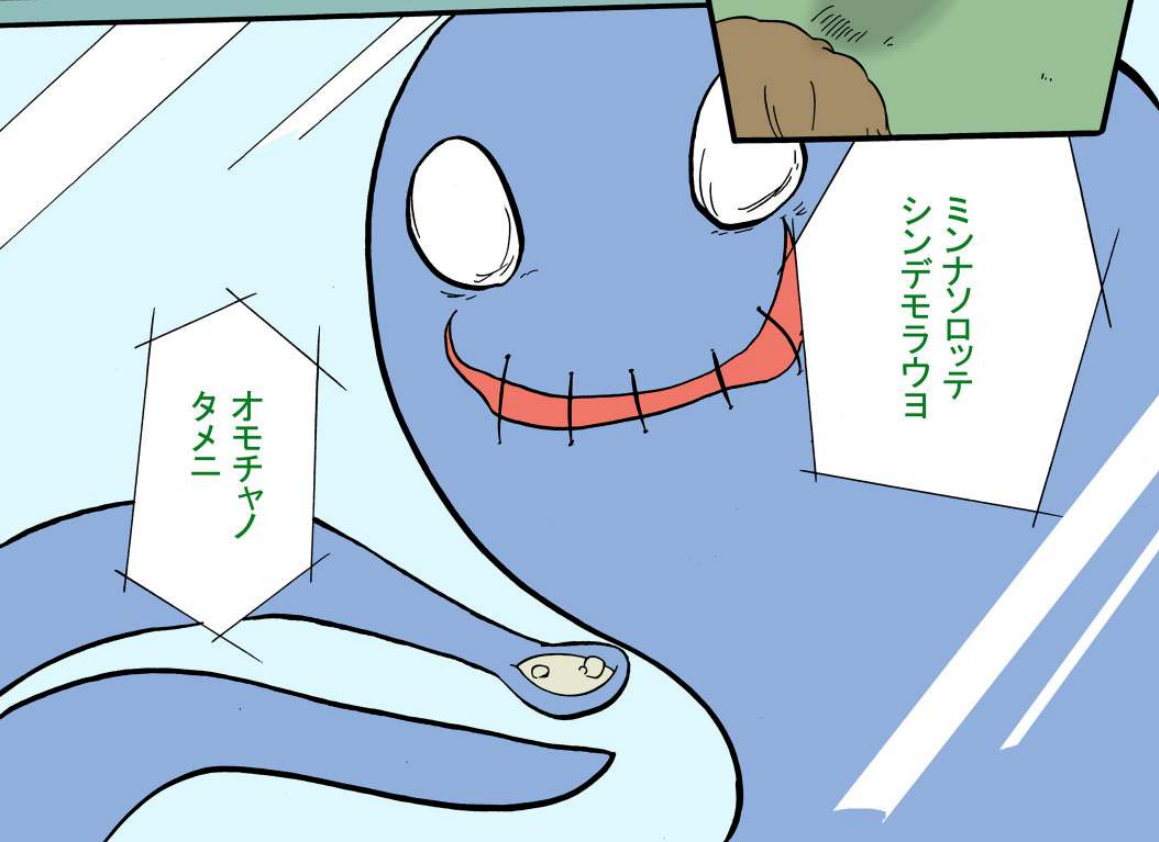
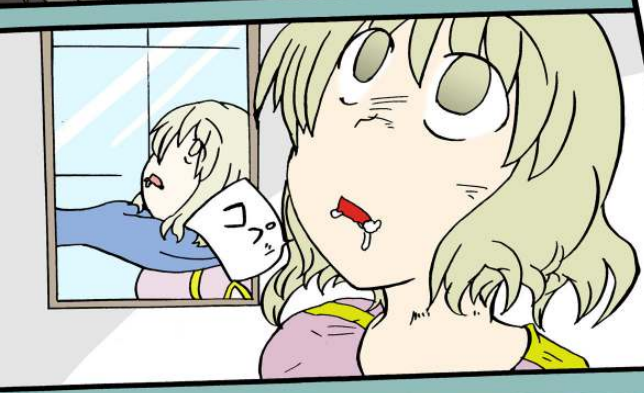


聞いてください

私の声を

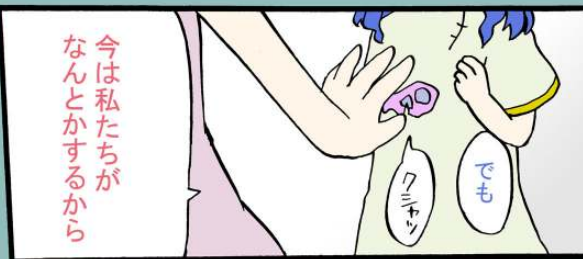
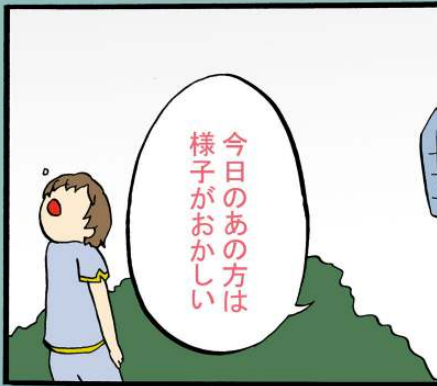
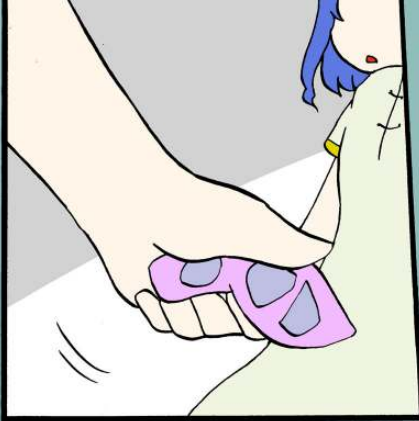
あの日の
真実を





オモチヤノ
タメニ

ミンナソロツテ
シンデモラウヨ



わかったよ お母さん

ドツカデ
シンデルノ
カナ？

ナニカ
タリナイ
キガスルカモ

ママ
イツカ

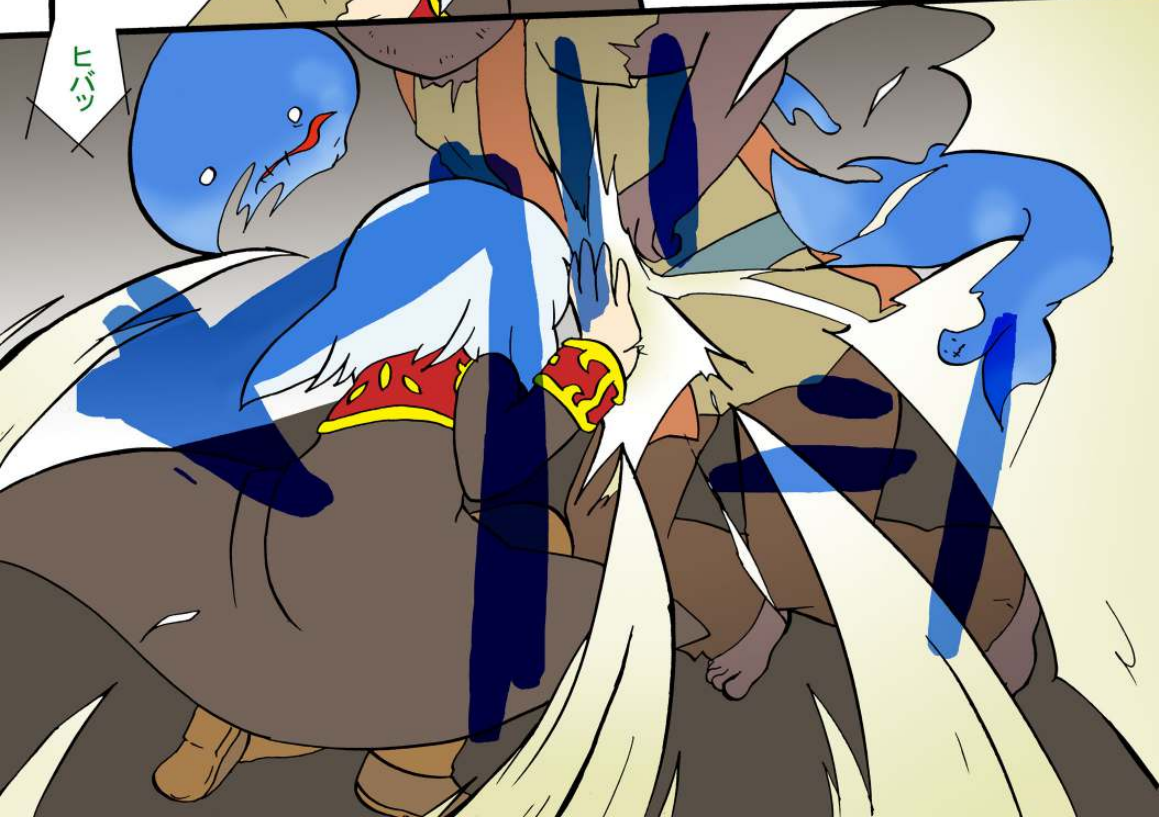
あの日
あそこには
いたのは

彼は誰も
殺していない

青い
異物

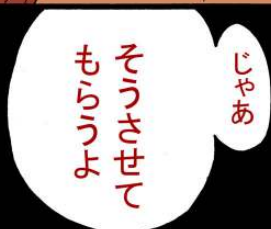
あなたです













王様：
連れて
いかないん
ですか？

うん
あれはもう
どうしようも
ないものだし

無い方が
都合がいい
でしょ



ギッ

スウ...

ここに
置いておけば

もう
見つかることは
ないからね





そこにありはするよ
知覚できると
悪用されちゃう
からね



あの島
どこにいったんです？



特に

こういう人間は
見える限り
探し続けるから



TEMP a Hob



ブ〇〇〇〇ン

君



あなたは？



こないだもいたよね

よく乗ってるの？



いきなりごめんね

僕はここで仕事をしってるんだけど

他の人みたく仕事でつて風には見えなかったから気になって



確かに最近ちよっと多かつたかも

仕事って「こ」で働いてるの？

職員ってわけじゃないんだけどね

荷物を運んでるんだ



これなんだけど

で...君に声をかけたのも理由があるんだけど

ちよっとの間これを見て欲しいんだ

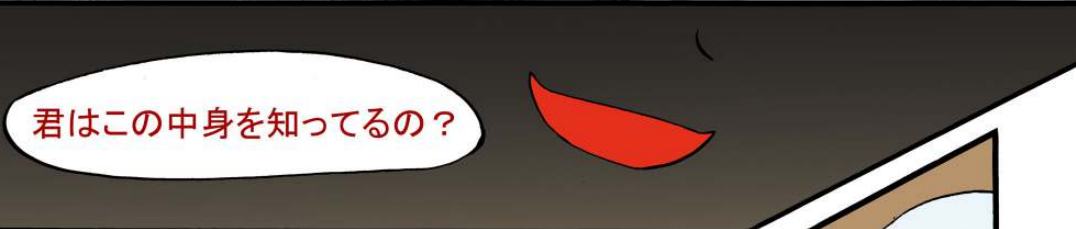
すぐ戻るから

OK

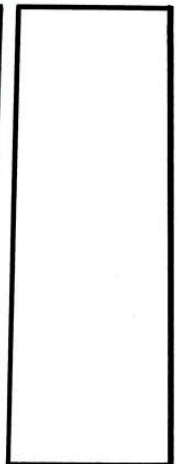
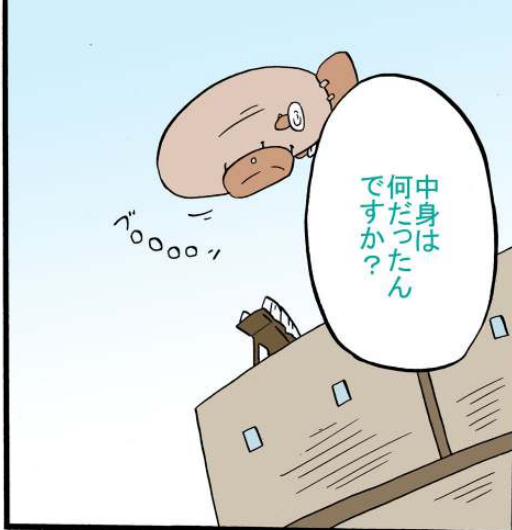
助かるよ!

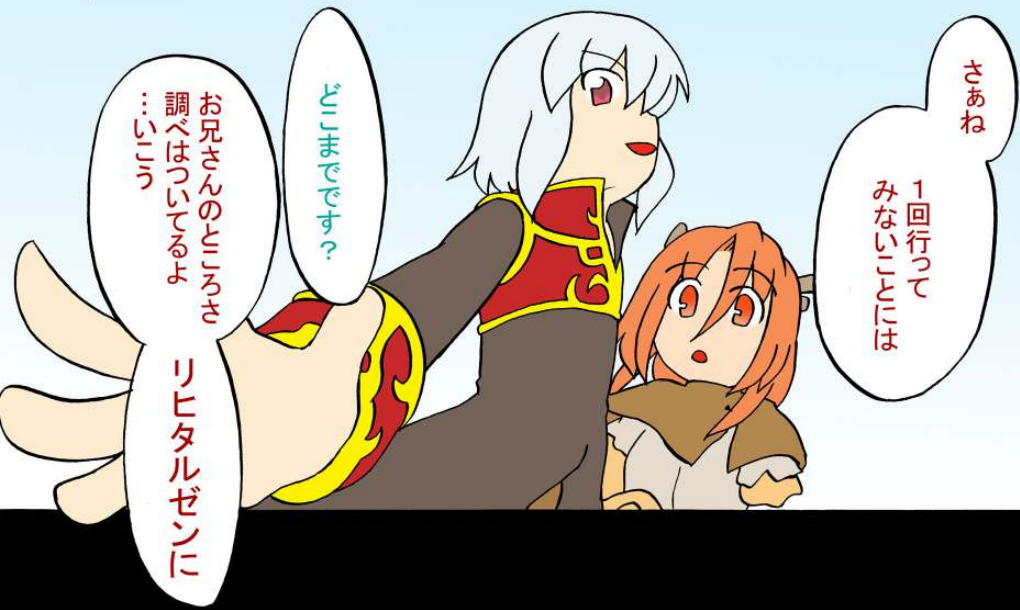


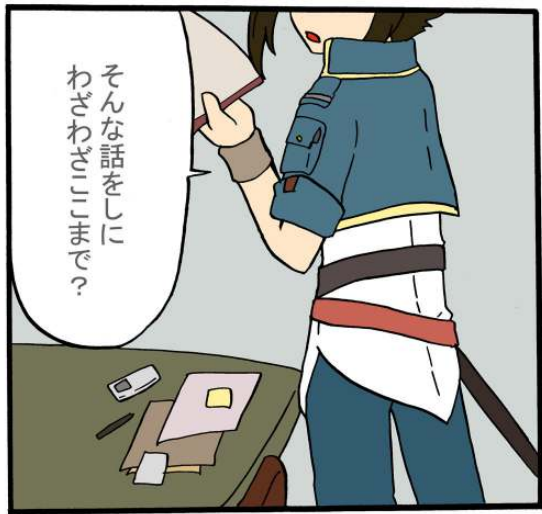


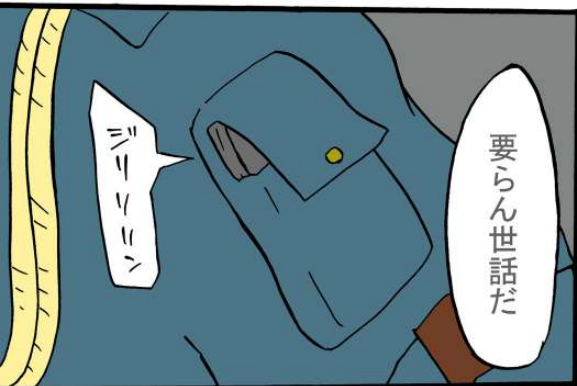














どうします？

弟のほうを
説得してみようか

兄弟のほうか
話を通じるかも

でもあの
お兄さんですよ？

難しそう
だねえ



だけど何事も
やってみないことには

おい気をつける！
丁寧に扱って
強く言われてん
だからな！

「ごめんなさい！」



あーあー
板割れちまつてる
じゃねーか

代わりに
なるもん
取ってくる

すみま
せん！



ユキさん

あれ……



それを言うために
わざわざ
会いにきたの？

君って思った以上に
暇人なんだね



だから君から
止めてくれない
かなって

にわかには
信じられないよ
あの兄さんが
僕を使つて？
ありえない！



僕たちは
2人きりの兄弟で
兄さんはどんな時も
僕のために
頑張ってくれた
今もそう

僕はずっと
兄さんを
見ていたんだ

だからわかるさ

君の言葉を
信じる
理由なんて
どこにも
あるのさ





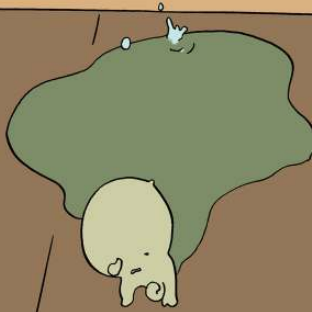
見てもらうよ
無理にでもね

君が自発的に
開けてくれるのを
願っていたけど
それなら
しょうがないね



そんなの
どうやって





ピチャン...



これは...

なんなの

何って
君の運んでいた
荷物だよ

君に内緒で
君に押し付けて
いる...ね



はは…まさか
冗談でしょ？

君がここに来る前に
業者さんにも
仕込んでもらった
んじゃないの？

そう思うなら

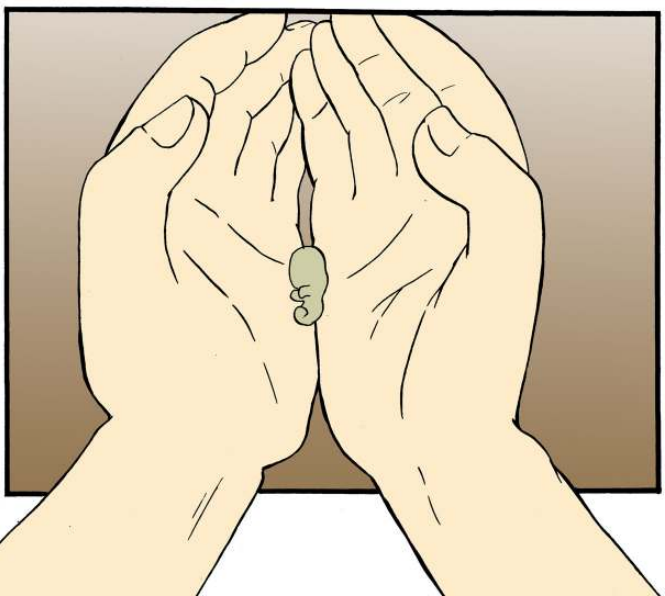
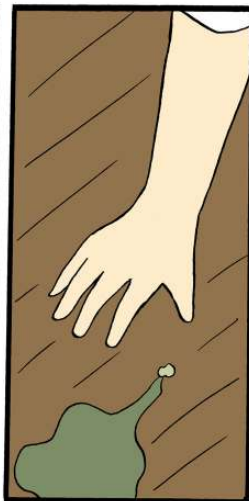


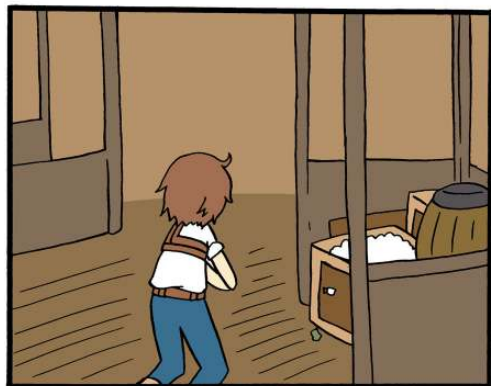
見てみれば
いいんじゃない？

その荷物の中身











また来たのか

何度言っても
答えは変わらんぞ

言っと思った

でも

弟さんは
知っちゃったよ？
それでもまだ
こんなことを
続けるの？

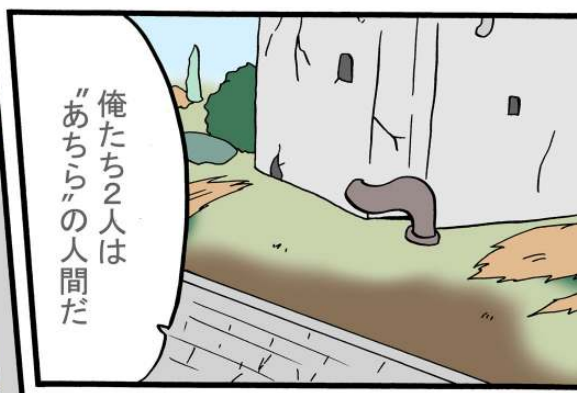
2人きりの兄弟
だつて聞いたけど…
ここでなきや
他の仕事だつて
あるんじゃない？

苦しめなければ
やっていけない
なんてことは
ないはずだけど



お前に何がわかる

ぐしゃ



俺たち2人は
"あちら"の人間だ



貧困街からやっと
ここまで上がって
これなんだ

手放すなんて
考えられるか



ぬくぬくと
育った者の
言い分だな

これは
俺たちなりの
努力だ

他人にとやかく言われる
筋合いなどない

そこまでして
執着する街でも
ないと思うけど



言われ
なくても

グワッ
グワッ
グワッ



ふーん
ならせめて
弟さんときちんと
話をしなよ

騙すんじゃ
なくつてさ



俺だ
どうした？



噂をすれば
あいつからだ

少し黙って
いろ

はいはい



え…
は？
何を



…誰だ？



わかりました…
すぐに向かいます

何かの間違いでは？



何をした!!?

弟に…





何故あいつを殺した!

お前がやったんだらう!!



…何か
あったの?
しらばつくだ
れるな!



……



……くそ

する

誰が信じるか…
そんな言葉…



僕と別れたときは
生きてたよ?
僕がやったんじゃない

弟さん
死んだんだ?



他の乗客にでも
聞くといい
彼がいつ死んだか

僕がいつ
船を出たのか



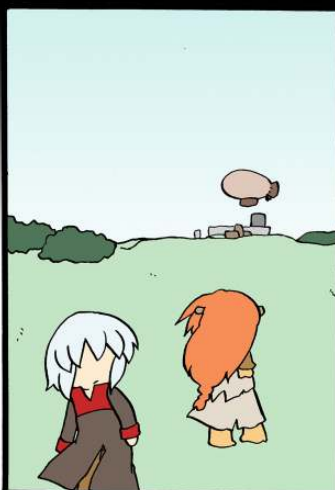
それで
わかるはずだよ



犯人は僕じゃない

でもまあ

残念だよ







サア……

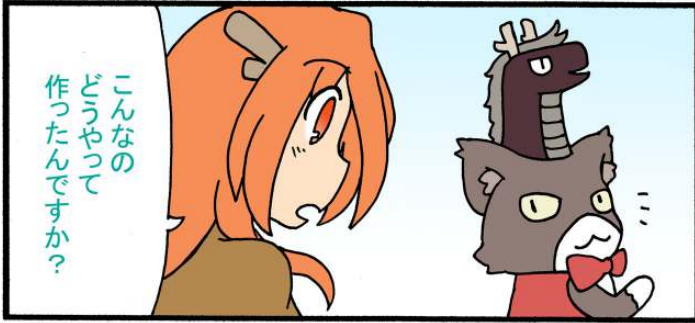




パッチ情報



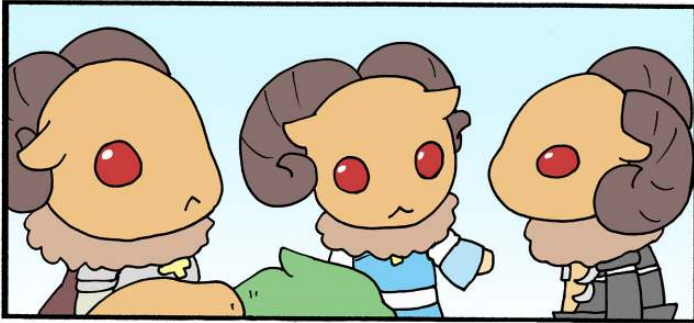
つくりかた



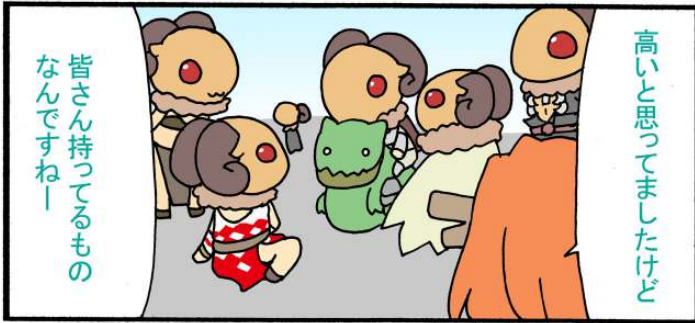
商売人



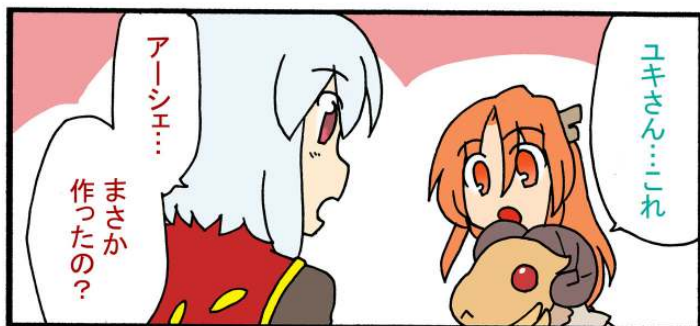
愛ゆえに



びつたり



信仰対象



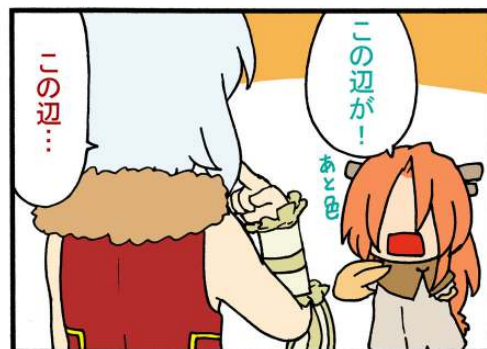
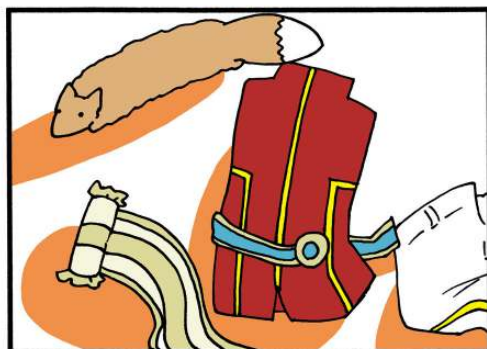
まじっぴょんの愛し方



TEMP a Hob

とろとろしてたら公式があんな装備
出して微妙に被った気持ちになった

キルハイル学園



※カバーの返し部分漫画※

